授業科目名	衛生管理		科目コード	１５０１００３	
開講クラス	美容昼間課程専門科	コース		学　年	１，２年
担当教員	山内　亜希子、川端　夏代				
	実務経験教員（　有　・　無　） 実務経験内容 山内亜希子　美容師 平成 10 年　美容師免許取得 平成 22 年　衛生管理担当教員資格取得 川端夏代　美容師 平成 12 年　美容師免許取得 平成 16 年　衛生管理教員資格取得				
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	９０時間
	必　須　・　選　択　・　選択必須			単　位　数	３単位
使　用 テキスト１	書　名	衛生管理			
	著　者	公益財団法人　日本理美容教育センター			
	出版社	同上			
使　用 テキスト２	書　名	ワークブック			
	著　者	公益財団法人　日本理美容教育センター			
	出版社	同上			
参考図書					
授業形態	講義　・　演習　・　実習　・　実験　・　その他（　　）				

＜授業の目的・目標＞
公衆衛生の意義と本質を明らかにすることによって、不特定多数の人に直接触れる美容師が、公衆衛生の維持と増進についての責務を担わなければならないことを理解させること。美容師の業務内容と感染症予防の関連付けを理解させるとともに、消毒の意義と原理について理解させる

＜授業の概要・授業方針＞
公衆衛生が日常生活や美容業とどのように結びつくか、公衆衛生向上のため何をすべきかを理解させる。感染症予防対策について系統的に理解させ、美容器具等の対象物の材質、構造に応じた適切な消毒方法の選択と適正な実施方法について学ばせる

＜成績基準・評価基準＞
期末試験結果によるもの。
100 点満点中、80 点以上優、70 点以上良、60 点以上可。
60 点以下の場合は追試、レポート提出により可判定とする

＜使用問題集・注意事項＞
国家試験過去問題集

＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞
美容保健　関係法規・制度　香粧品化学

授業科目名	衛生管理	
回	授　業　内　容	備　考
1	美容師になるために衛生管理を学ぶ必要性	
2	公衆衛生の意義と課題	
3	公衆衛生の具体的課題と領域	
4	公衆衛生の発展の歴史	
5	理美容師と公衆衛生	
6～１０	演習問題	
１１	保健所業務	
１２	予防医学、疫学	
１３	母子保健、成人高齢者保健、精神保健	
１４	がん、心臓病、脳卒中、生活習慣病	
１５	栄養素とその働き	
１６	医療介護制度	
１７～２０	演習問題	
２１	環境衛生の目的と意義	
２２	空気、水と健康	
２３	温度、湿度、気流、気候	
２４	衣服、食品衛生	
２５	住居の衛生	
２６	上下水道と廃棄物	
２７	衛生害虫とねずみ	
２８	公害と環境保全	
２９	大気汚染、水質汚濁	
３０	その他の公害	
31	理美容所の環境衛生	
３２～３５	まとめ復讐・演習問題	
３６	感染症と社会生活	
３７	細菌学の発展	
３８	法律上の分類による感染症の種類	

３９	病原体の侵入門戸による感染症の種類	
４０	病原体の種類による感染症の種類	

回	授　業　内　容	備　考
４１	病原性微生物の構造	
４２	細菌とウイルスの違い	
４３～４５	演習問題	
４６	感染症の予防	
４７	免疫と予防接種	
４８	感染症発生の要因	
４９	感染症予防の３原則	
５０	一類、二類、三類	
５１	四類、五類	
５２	インフルエンザ、梅毒、エイズ、麻疹	
５３	予防接種	
５４～６０	まとめ復讐・演習問題	
６１	消毒、殺菌、滅菌、防腐	
６２	消毒の歴史	
６３	消毒の種類	
６４	理学的消毒	
６５	化学的消毒	
６６	消毒液濃度	
６７	器具の使用法	
６８	希釈法	
６９～７５	希釈法計算	
７６～８０	美容所消毒の実際	
８１	美容師法施行消毒法	
８２～８５	まとめ復讐・期末試験	
８６～９０	国家試験対策	